

# 令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要

富谷市教育委員会

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するため、5月27日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の富谷市立学校の結果の概要がまとまりました。

富谷市では、この結果をもとに、教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善などに役立てていきます。

## 1 調査対象（全小中学校を対象とした悉皆調査）

- (1) 小学校調査 小学校第6学年 8校 702名
- (2) 中学校調査 中学校第3学年 5校 654名（数学は655名）

## 2 調査事項

- (1) 教科に関する調査（小学校調査は、国語・算数、中学校調査は、国語・数学）
- (2) 児童生徒質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

## 3 調査結果の概要

- (1) 教科に関する調査

小学校は、国語・算数とも全国の正答率とほぼ同じであり、中学校の正答率は、国語が全国を上回り、数学は全国の正答率とほぼ同じです。また、学習指導要領の領域等や観点別で見ると、小・中学校とも全国の平均正答率と同じ傾向が見られます。問題形式では、選択式、短答式、記述式のうち、小学校国語の記述式で全国の平均正答率を下回っていますが、それ以外は、小・中学校とも全国の平均正答率と同じ傾向が見られます。

- (2) 児童生徒質問紙調査

①小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」をあわせた割合で判断すると、全69項目中、解答率が90%を超えて全国平均も上回った項目が11あり、解答率50%を超え全国平均を5%上回った項目が4ありました。特にICT関係の活用等の項目が高くなりました。

また、全国を5%以上下回った項目は、「休みの日の学習時間2時間以上」を問う項目（19）で、全国比7.1%減の22.6%でした。これらの項目以外は、全国との差が5%以内に収まっていますが、特に算数についての項目の多くが、全国を下回っており、指導方法の改善等の対策が必要と思われま。

②中学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」をあわせた割合で判断すると、全69項目中、解答率が90%を超えて全国平均も上回った項目が10ありました。解答率50%を超え全国平均を5%上回った項目が20項目もあり、両方を合わせて、全項目の半数近くになり、全体的に良好でした。

小学校でも高かった「ICT関係の活用」の他に、「学習時間」、「学び合いや話し合い」「国語への学習への取組」等の項目の回答が良好でした。これらの項目以外は、全国との差が5%以内に収まっています、全国を5%以上下回った項目はありませんでした。

## 4 今後の対応

今回の調査結果及び分析結果を本市の教育施策の検証・改善に生かし、子どもたちが学習に意欲を持って取り組めるよう学校、家庭、地域及び市教育委員会が連携して、教育活動の充実や生活・学習状況の改善に取り組みます。なお、今後、各学校においても、課題改善に向けた指導の方向性や対策を明らかにするとともに、保護者にも説明し、家庭での学習についても協力をお願いすることとしております。

# 小学校国語問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

## 【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する	89.7	0.7
正答例	選択肢4		
3三 (1)エ	丸山さんの【文章の下書き】の——部エを、漢字を使って書き直す (げんいん)	83.2	6.6
正答例	原因		

## 【正答率が低かった問題】 正答率が50%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	26.1	7.5
正答例	面ファスナーはしっかりとくっつきかん単にはがせることから、物がうかぶ国際宇宙ステーションの中で、身の回りの全ての物の固定に使われている。		

目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる問題です。ここでは、面ファスナーのよさと、国際宇宙ステーション内の状況を踏まえた使われ方の2つのことについて、分量を考えながらまとめることが求められています。

富谷市で最も多かった誤答は、「面ファスナーのよさ」は取り上げていますが、「国際宇宙ステーションでの使われ方」について書いていない解答でした(47.6%)。国際宇宙ステーションの中での使われ方が書かれている部分を中心に読み、必要な情報を見付けて要約することができていないと考えられます。また、記述式の解答のため、無解答率も7.5%と高くなりました。(全国より2.0%多い。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。	27.6	6.1
正答例	メストラルは、ゴボウの実が犬の毛にからみついていたことをヒントに、かぎ状のフックが輪の形をしたループにひっかかることでくっつく仕組みの面ファスナーを作り出した。		

目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題です。ここでは、文章からゴボウの実のトゲが「かぎ状」であること、図表から面ファスナーのフックが「かぎ状」であり、ループが「輪の形」であることを見付け、これらを結び付けて理解することが求められます。

富谷市で最も多かった誤答は、「面ファスナーのヒント」は取り上げているが、「面ファスナーの仕組み」について書いていない解答でした(44.4%)。図表の中から面ファスナーの(くっつく)仕組み(かぎ状のフックが輪の形のループにひっかかること)を読み取り、要約することができていないと考えられます。また、上記の「2四」同様に、記述式の解答のため、無解答率も6.1%と高くなりました。(この問題でも全国より2.0%多い。)

# 小学校算数 問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

## 【正答率が高かった問題】 正答率が90%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3(1)	6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	96.3	0.4
正答例	選択肢エ 450冊		
3(2)	学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	91.9	0.4
正答例	選択肢ウ 5年生の貸し出し冊数は、4年生の貸し出し冊数の半分くらいである。		
1(4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く	90.7	0.9
正答例	(午後) 2(時) 25(分)		

## 【正答率が低かった問題】 正答率が50%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2(3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	47.3	3.6
正答例	【求め方】 辺BCを底辺としたとき、高さは、 $6 \times 2 = 12$ で、12cmです。平行四辺形ABCDの面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、60cm <sup>2</sup> です。【平行四辺形ABCDの面積】 60 (cm <sup>2</sup> )		

複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかをみる問題です。本設問では、平行四辺形の面積を求める公式を用いるために必要な情報が直接は示されていないため、組み合わせる二等辺三角形を構成する要素などに着目し、必要な情報を見出した上で、平行四辺形の面積を求める公式を用いることが必要です。求め方を記述する際は、①平行四辺形ABCDの高さを求めることと、②平行四辺形の面積を求める公式を用いて、平行四辺形ABCDの面積を求めることの二つの事柄を書くことが必要となります。

富谷市での誤答が多かったのは、「平行四辺形の高さを6.5cmの二つ分と捉えていて、平行四辺形の面積を65cm<sup>2</sup>と答えている」解答が8.7%、「平行四辺形の面積を求める式や言葉を書いているが、平行四辺形の高さを求める式や言葉がなく、面積を60cm<sup>2</sup>と答えている」解答が7.8%ありました。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4(3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	49.7	12.0
正答例	30mを1としたとき、0.1にあたる長さは3mです。12mは、3mの4つ分になるので、30mを1としたとき、12mは0.4にあたります。		

小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。本設問では、0.4は1を10等分した一つ分である0.1の四つ分であることに着目し、30mを1としたとき、0.1に当たる長さである3mを求めた上で、12mが3mの幾つ分を考えることが必要となります。理由を記述する上で、①30mを1としたとき、0.1に当たる長さが3mになること、②12mは3mの四つ分になることの二つの事柄を書くことが必要となります。

富谷市での誤答が多かったのは、「30mを1としたとき、0.1に当たる長さが3mであることを表す言葉や数を書いているが、12mが3mの四つ分になることを表す言葉や数がない」解答が12.5%、「30mを基にはしているが、0.1に当たる長さの記述がない」解答が9.0%ありました。また、記述式の解答のため、無解答率も12.0%と高くなりました。(全国より1.7%多い。)

# 中学校国語問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が90%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4-①	漢字を読む(伸ばして)	97.7	1.4
正答例	の(ばして)		
1-2	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	93.7	0.2
正答例	選択肢3 石川さんの発言の中で関心をもったことについて、さらに詳しく知るために質問している。		
4-②	漢字を読む(詳細)	93.7	1.5
正答例	しょうさい		

【正答率が低かった問題】 正答率が50%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3-4	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	24.2	24.5
正答例	「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。		

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことができるかどうかをみる問題である。この問題の正答の条件として、①文章の一部から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用して書いている、②①で引用した表現から、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書いている、③②のような「吾輩」の接し方について、自分の考えを具体的に書いている、の三つの条件を満たしていることが必要です。

富谷市で最も多い誤答は、「上記の条件②、③は満たしているが、条件①を満たさないでいる」解答で41.9%でした。ものの見方や考え方が表れている部分を明確にすることに課題があると思われます。「吾輩」が「黒」を評価している表現を文章の中から適切に引用するように促す必要があると思われます。また、記述式の解答のため、無解答率も24.5%と高くなりました。(全国より0.4%多い。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2-1	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	25.2	0.0
正答例	㊤ 選択肢4 直前の文で述べている意見の根拠であることをより明確にしようとした。 ㊥ 選択肢1 1段落で述べている意見の根拠となる具体例をより詳しく説明しようとした。		

書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くことができるかどうかをみる問題です。

富谷市での誤答をみると、「㊤は4と答えているか、㊥が1以外の解答をした」解答が36.9%で、2段落が、1段落で述べている意見の根拠となる具体的例を述べたものであることを捉えることができないものと考えられます。

次に多い誤答は、「㊤が1～3、㊥が2～4と答えている」解答で31.5%でした。読み取りが甘く、特に段落相互の関係を捉えきれていないと考えられます。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3-1	「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する	44.6	0.0
正答例	選択肢1 コツをつかんだ。		

文脈の中における語句の意味を理解しているかどうかをみる問題です。

富谷市の誤答で多かったのは、「発言を我慢した」との解答が37.3%、「ため息を抑えた」との解答が9.3%、「息を吸い込んだ」との解答が8.6%でした。「呼吸」には「息を吸ったり吐いたりす

ること」などの意味もあるが、ここでは「コツ」、「物事をうまく行う要領」という意味で用いられていることが理解できていないと考えられます。また、「のみこむ」には「抑えて外に出さないようにする」、「我慢する」などの意味もあるが、ここでは「つかむ」、「理解する」という意味で用いられていることが理解できていないものと考えられます。あるいは、「この呼吸を飲み込んだ」の「この」が何を指しているのか捉えることができていないとも考えられます。

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	46.3	0.6
正答例	伺う（参る） 選択肢2 謙讓語		

相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるかどうかをみる問題です。

富谷市の誤答が多かったのは、「敬語を適切に使うことはできているが、その敬語の種類を正しく答えられなかった」解答が18.2%、「敬語の種類を正しく答えているが、『行く』を適切な敬語に書き直すことができなかった」解答が14.5%、「『行く』を適切な敬語に書き直すことができず、敬語の種類を正しく答えることができなかった」解答が誤答の中で最多で20.3%でした。なお、この問題は正答率が50%を下回った問題ですが、全国の前年比はさらに低くて40.3%を示し、全国比で6.0%富谷市が上回った問題でした。

# 中学校数学 問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
8 (1)	気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を書く	85.6	4.6
正答例	6		

【正答率が低かった問題】 正答率が50%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
8 (3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	8.2	34.7
正答例	2つの度数分布多角形が同じような形で、6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある。		

データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題です。説明する際には、①6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にあること、その上で②日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にあることの2つを記述する必要があります。

富谷市の誤答が多かったのは、「6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にあること」を明示せずに、度数分布多角形の相対度数に着目して記述している解答で8.9%でした。次に多いのが、やはり、「6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にあること」を明示せずに、2つの度数分布多角形の形状についてのみ記述している解答で5.6%ありました。また、記述式の解答のため、無解答率も34.7%と高くなりました。(全国より2.5%多い。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
7 (2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	27.9	24.9
正答例	<p>&lt;グラフを用いることについて記述している場合&gt;                      次の(a), (b)について記述している。                      (a)直線のグラフをかいて利用すること。                      (b)y座標が120のときのx座標を読むこと。                      (正答例)原点Oを通る直線のグラフをかき、y=120のときのx座標を読む。(解答類型1)</p> <p>&lt;式を用いることについて記述している場合&gt;                      次の(c), (d)について記述している。                      (c)比例の式又は一次関数の式を求めて利用すること。                      (d)y=120を代入して、xの値を求めること。                      (正答例)yをxの比例の式で表し、y=120を代入し、xの値を求める。(解答類型5)</p> <p>&lt;表や数値を用いることについて記述している場合&gt;                      次の(e), (f)について記述している。                      (e)表や数値を用いて割合を求めて利用すること。                      (f)砂が落ちきるまでの時間が120秒になる砂の重さを算出すること。                      (正答例)表の数値を用いて比例定数を調べ、その比例定数で砂が落ちきるまでの時間が120秒になる砂の重さを計算する。(解答類型9)</p>		

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題です。砂がすべて落ちきるまでの時間が120秒になる砂の重さを求めるために、「用いるもの」を明確にした上で、その「用い方」を数学的に説明するものです。「用いるもの」として、直線のグラフ、比例の式又は一次関数の式、表や数値の3つがあるため、3つの正答があります。

富谷市の正答の分布をみると、解答類型1が7.1%、解答類型5が4.0%、解答類型9が17.

0%であり、表や数値を用いて割合を求めて利用することが最多となっています。一方、誤答で最多だったのは、「(a)直線のグラフをかいて利用すること」の記述はありますが、「(b) y座標が120のときのx座標を読むこと」の記述がない解答で17.6%でした。また、記述式の解答のため、無解答率も24.9%と高くなりました。(全国より0.2%多い。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
9 (3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	31.6	28.2
正答例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>\angle ARG</math>や<math>\angle ASG</math>のそれぞれ大きさは変わらない。</li> <li>・<math>\angle ARG=105^\circ</math> <math>\angle ASG=75^\circ</math> である。</li> <li>・上記以外で<math>\angle ARG</math>, <math>\angle ASG</math>の大きさについて成り立つこと。</li> </ul>		

ある条件(平行線)の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができるかどうかをみる問題です。富谷市の誤答が多かったのは、 $\angle ARG + \angle ASG = 180^\circ$ と解答した9.9%でした。 $\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることまで考えが及ばなかったと思われます。短答式の問題でしたが、無解答率が高く28.2%でした。(全国と同じ。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
6 (3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	35.6	27.3
正答例	<p>「○○は、◇◇である」という形で。次の(a), (b)を記述しているもの。</p> <p>(a)○○が、「四角で囲んだ4つの数の和」である。</p> <p>(b)◇◇が、「左上の数と右下の数の和の2倍」である。</p>		

数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができるかどうかをみる問題です。四角で囲んだ4つの数の和がどんな数であるかを、文字を用いた式の意味を読み取って説明するものです。真菜さんの計算において、四角で囲んだ4つの数の和である $2(2n+7)$ の $2n+7$ は、四角で囲んだ4つの数のうち、 $n$ と $n+7$ の和であることから、四角で囲んだ4つの数の和について、左上の数と右下の数の和の2倍であることを記述する必要があります。

富谷市の誤答が多かったのは、「数の位置に注目しているが、成り立たない事柄を記述している」解答で7.8%でした。また、記述式の解答のため、無解答率も27.3%と高くなりました。(全国より2.6%少ない。)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	48.7	10.2
正答例	①「影の長さ」 ②「経過した時間」		

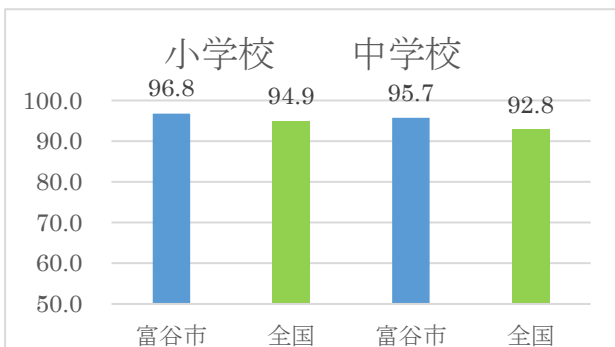
関数を用いて事象を捉え考察する場面において必要となる、事象の特徴を的確に捉えることと関数の意味を理解していることができるかどうかをみる問題です。具体的な事象の中から伴って変わる2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、2つの数量の関係についての的確に捉えることが大切です。

富谷市の誤答が多かったのは、①と②を逆にした解答で29.8%でした。「経過した時間」を従属変数と誤って捉え、「影の長さ」を独立関数と誤って捉えたと思われます。

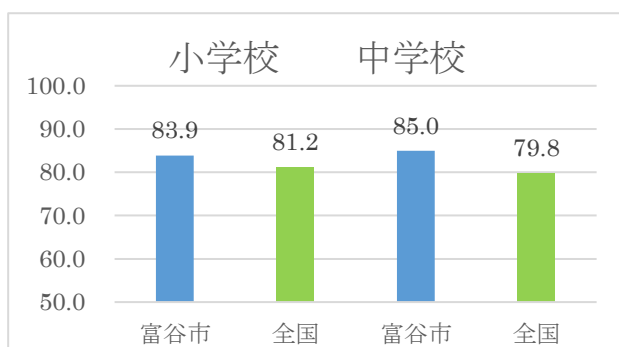
# 質問紙調査の結果と分析

## 生活習慣

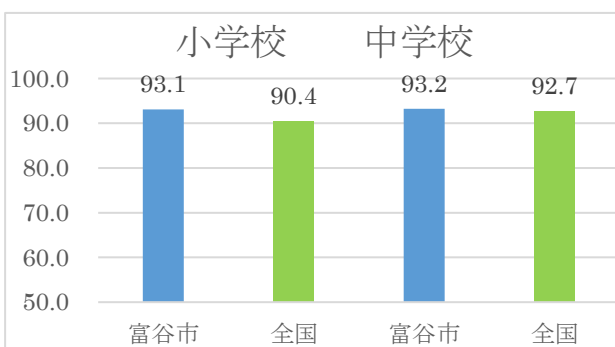
Q 1 朝食を毎日食べていますか



Q 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



Q 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

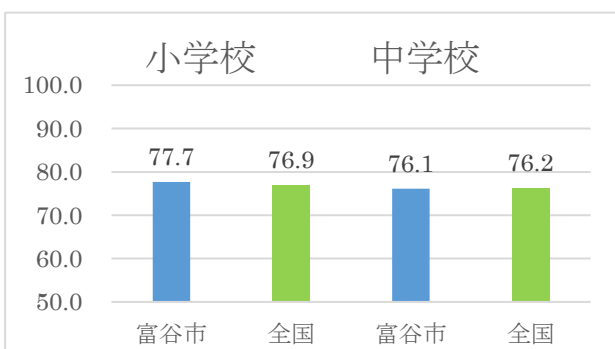


生活習慣についての3項目とも、富谷市は小・中学校とも全国を上回っています。

今後も、学級活動や学校だよりで話題にするなど、規則正しい生活習慣を身に付け、健康に留意して生活できるよう、学校や家庭で子どもと一緒に話し合う機会をつくることが大切です。

## 自己有用感

Q 6 自分にはよいところがあると思いますか



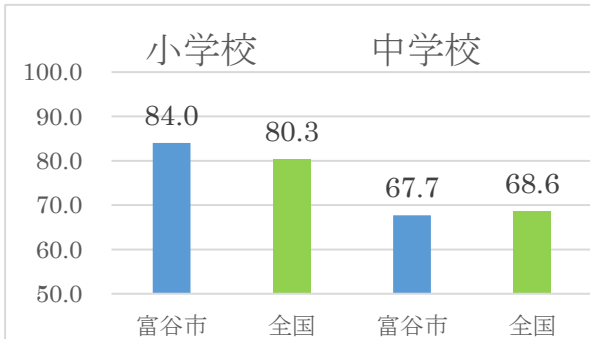
「自分にはよいところがあると思いますか」という項目においては、小・中学校で全国並みとなっています。

授業や学校行事、日常の当番活動や係活動などにおいて、よいところを認め具体的に伝えること、そして、互いのよさを認め合える集団づくりを行っていくことが大切です。

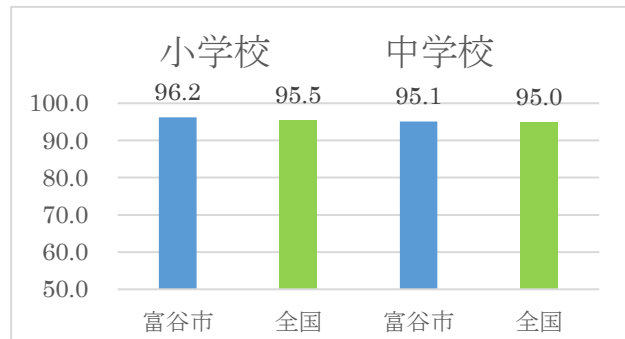


## 将来の夢や目標について

Q 7 将来の夢や目標を持っていますか



Q 1 2 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

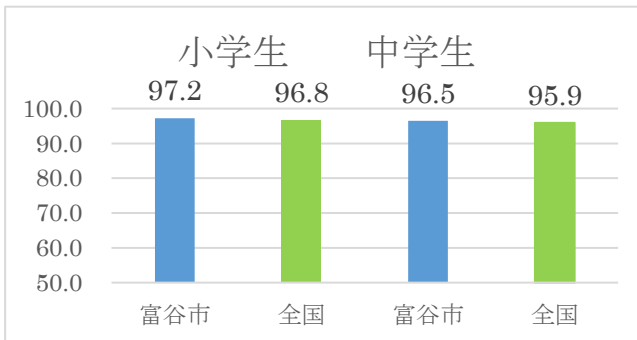


将来の夢や目標を持っている割合は、小学校で全国を上回っていますが、中学校はやや下回っています。人の役に立つ人間になりたいと思っている割合は、富谷市・全国の小・中学校とも95%以上で高くなっています。富谷市の小・中学校とも全国並みとなっています。

将来の夢や目標を持つためには、自己をしっかり見つめさせ、夢や希望について考える場と時間を十分に与えるだけでなく、さらにそれについて教師と一緒に語り合える場を設定することも大切です。また、人の役に立つ人間を目指すためには、子どもたち一人ひとりに積極的に役割を与えるなど、自信を持ち、自分の価値に気付かせ、自己有用感を高める指導も必要です。

## いじめについて

Q 1 1 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

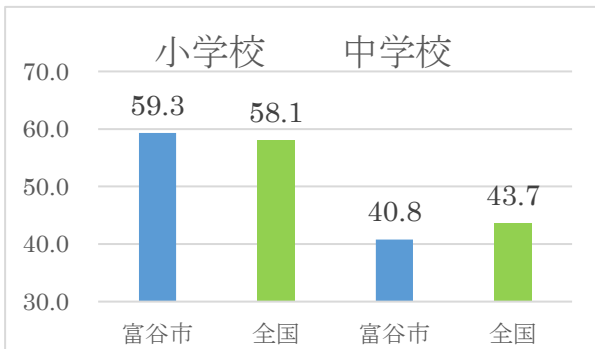


「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた割合は、富谷市・全国の小・中学校とも95%を超えています。中学校のほうが少し低くなっています。富谷市の小・中学校は全国並みとなっています。

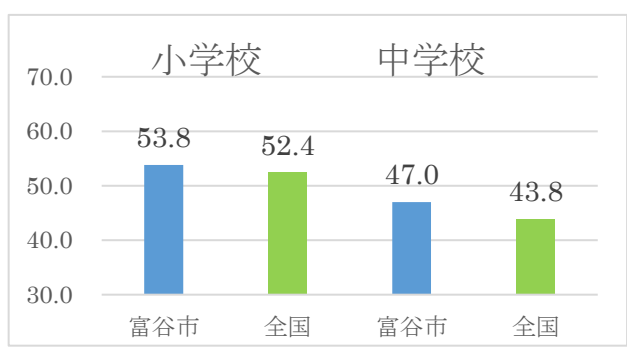
いじめの問題については、「あなたならどうするか」と自分のこととして考えさせ、話し合わせることを通して、「いじめられる側にも問題がある」という考えは誤りであることに気付かせる必要があります。

## 地域との関わり、社会に対する興味・関心

Q 2 4 今住んでいる地域の行事に参加していますか



Q 2 5 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

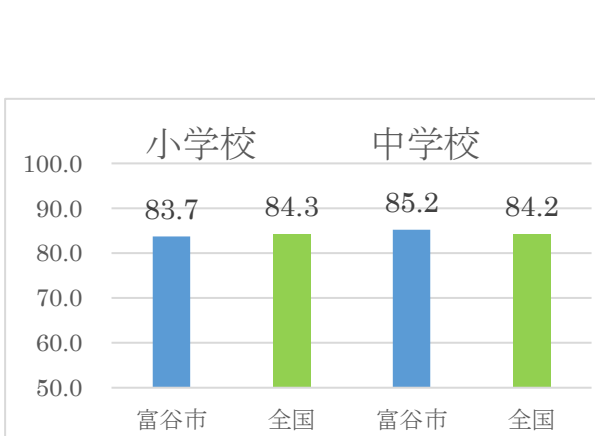


「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた割合は、小学校は全国を上回りましたが、中学校では全国を下回りました。一方、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と答えた割合は、小・中学校とも全国を上回りました。

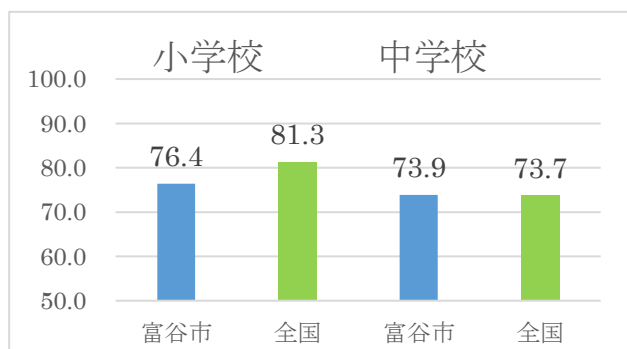
地域のことについては、地域の行事に直接参加を促すだけでなく、新型コロナウイルスの感染により行事そのものが減少や縮小されていることから、朝の会や帰りの会で地域や社会のことを話題にすることや、ボランティアなどへの参加の働きかけを行うことも必要になってくると思われます。

## やり遂げる意志について

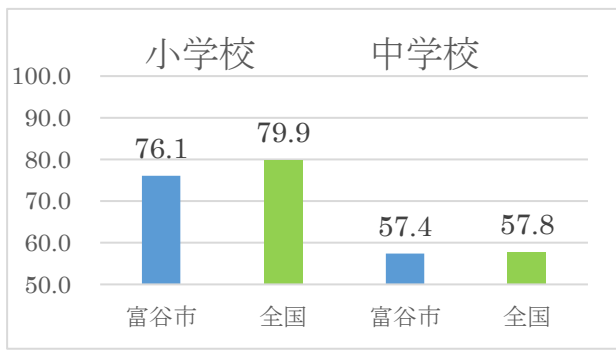
Q 8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



Q 5 1 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか<最後まで解答を書こうと努力したと回答した割合>



Q60 今回の算数（数学）の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか。〈最後まで解答を書こうと努力したと回答した割合〉



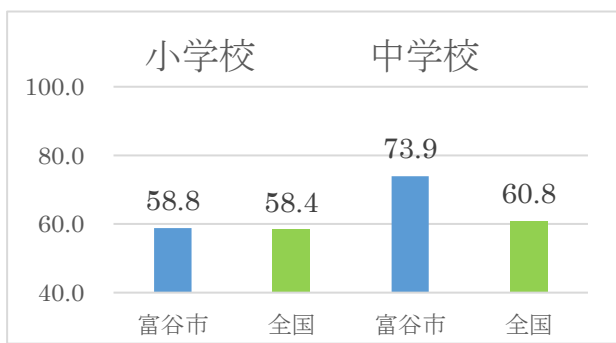
「やり遂げようとする意志」を示す項目と、その具体例として「記述式問題を最後まで解こうと努力した」割合を比較してみました。

「やり遂げようとする意志」については、小・中学校とも全国並みでした。しかし、具体例としての「記述式問題を最後まで解こうと努力した」割合をみると、特に小学校で、国語・算数とも全国を下回りました。

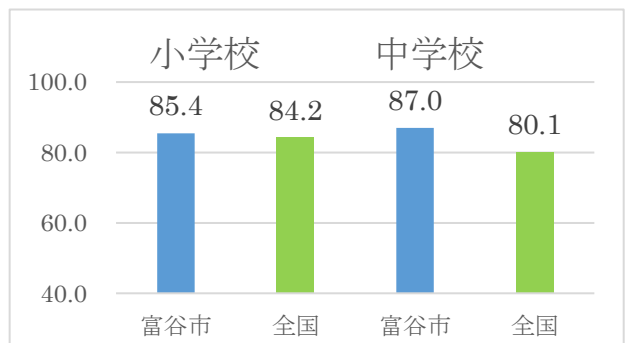
道徳科の授業や、学校行事等で「やり遂げようとする意志」について話題にし、子どもたちを励ましていく指導が望まれます。

## 国語の授業について

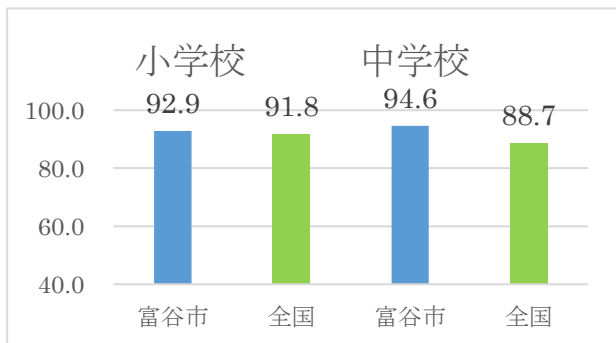
Q43 国語の勉強は好きですか



Q45 国語の授業の内容はよくわかりますか



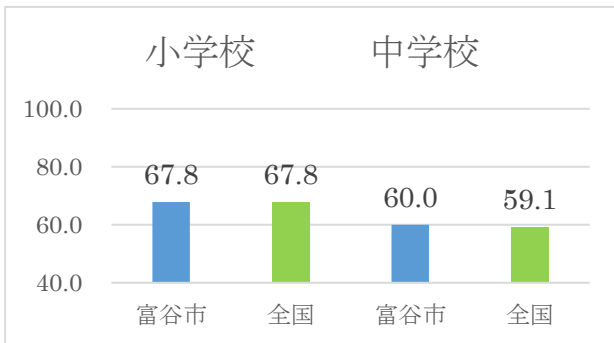
Q46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



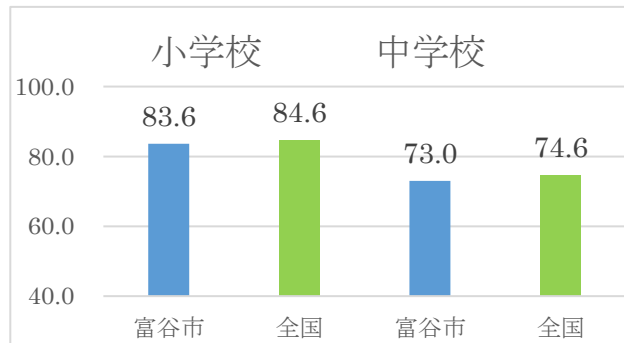
「国語の勉強が好き」「国語の授業が分かる」「国語で学習したことは将来役に立つ」と答えている割合は、小学校でほぼ全国並みですが、中学校では全国を大きく上回っています。このことは、教科に関する調査の中学校国語の正答率の高さにも関連していると思われます。

## 算数・数学の授業について

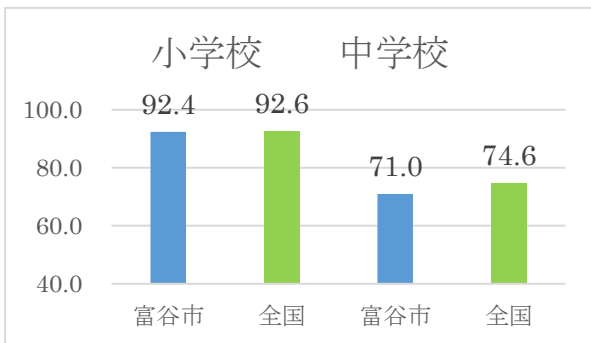
Q 5 2 算数（数学）の勉強は好きですか



Q 5 4 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか



Q 5 5 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

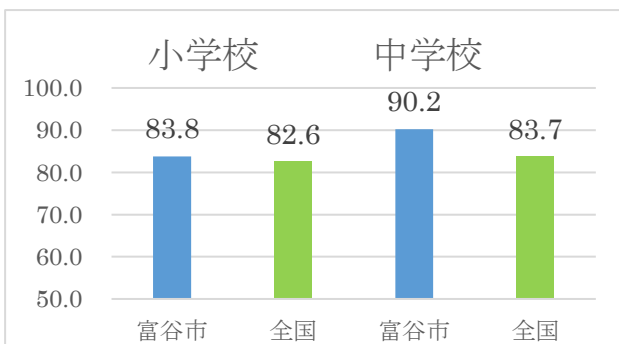


小学校では、「算数の勉強が好き」「算数で学習したことは将来役に立つ」と答えている割合は全国並みですが、「算数の授業が分かる」は全国を下回っています。中学校では、「数学の勉強が好き」が全国をやや上回っていますが、算数の授業が分かる」「算数で学習したことは将来役に立つ」は、全国を下回っています。

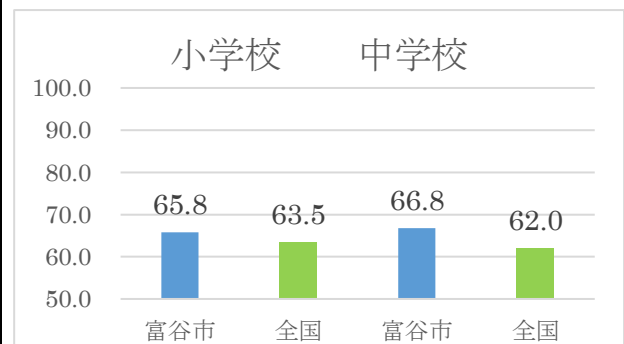
小・中学校とも、「授業が分かる」ことが実感できるように、また、算数・数学の有用性が伝わるような指導の工夫や改善が期待されます。

## 学び合い・主体的な学び

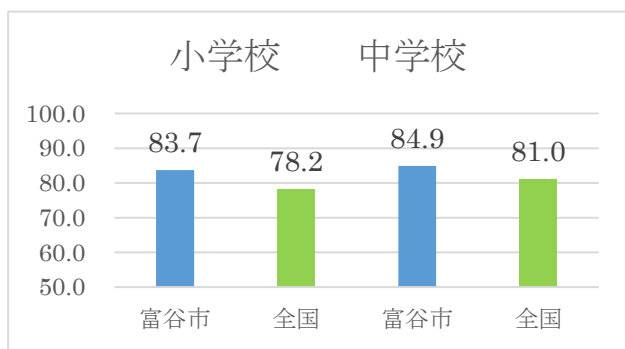
Q 3 1 学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか



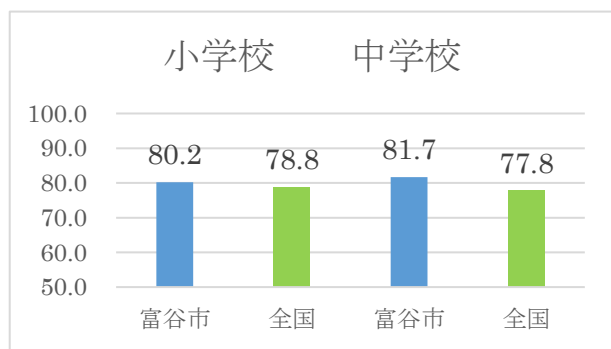
Q 3 2 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



Q 3 3 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



Q 3 7 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

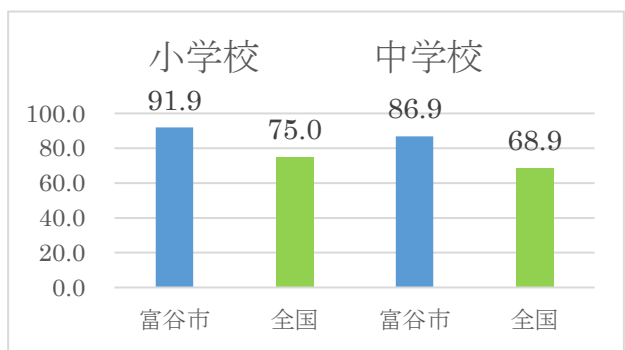


学び合い、主体的な学びに関する項目で、「友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝える」「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する」「自分で考え、自分から取り組んでいる」「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている割合は、小・中学校とも全国を上回っています。

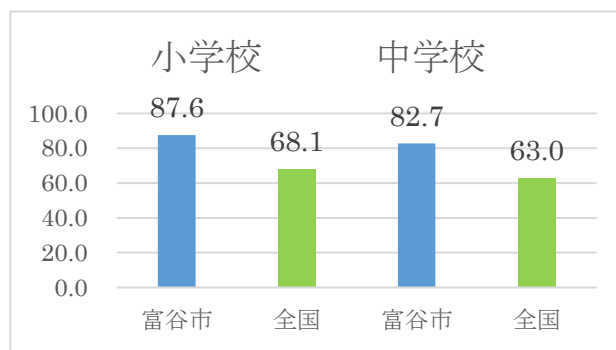
今後も新型コロナウイルス感染症予防の観点から三密を避けながらも、授業のねらいに応じて、学び合い活動を充実させ、主体的な学びが図れるように指導していくことが望まれます。

## ICTの活用について

Q 2 6 授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか  
 <月1回以上と回答した割合>



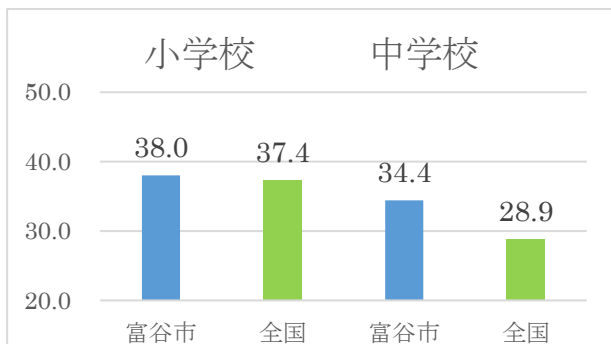
Q 2 7 コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか  
 <月1回以上と回答した割合>



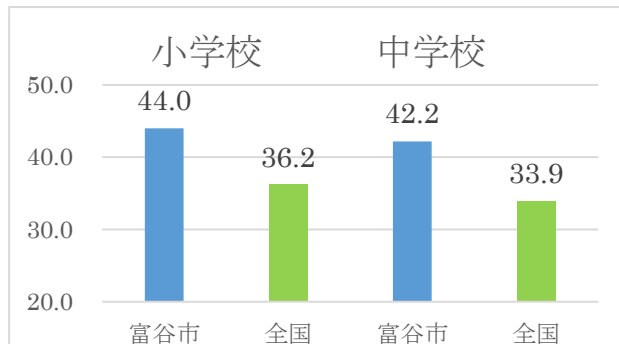
授業でICT機器を活用したり、他の友達と意見交換をしたり、調べたりするための使用頻度は、富谷市の小・中学校で全国を大きく上回っています。タブレットの配布などハード面の整備とともに、市内各小・中学校の先生方の取組の成果が表れていると思います。

## 読書の時間

Q 2 1 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか<30分以上と回答した割合>



Q 2 2 あなたの家にはどのくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）<100冊以上と回答した割合>

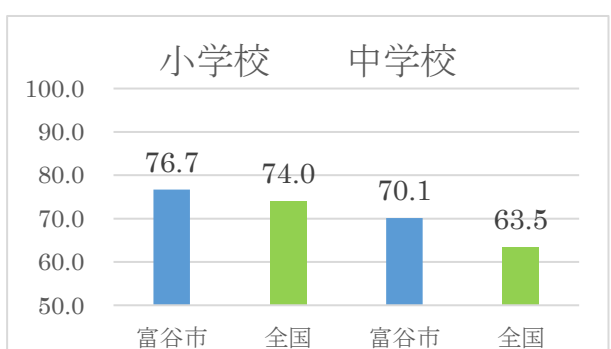


学校の授業時間以外に、1日当たり30分以上、読書している割合は、富谷市・全国とも40%未満で決して多くはありません。富谷市の小学校で全国並みとなりましたが、中学校では全国平均を上回りました。学校図書館指導員の配置、朝読書の時間の設定や、調べる学習コンクールなどの取組が成果を上げていると思われます。

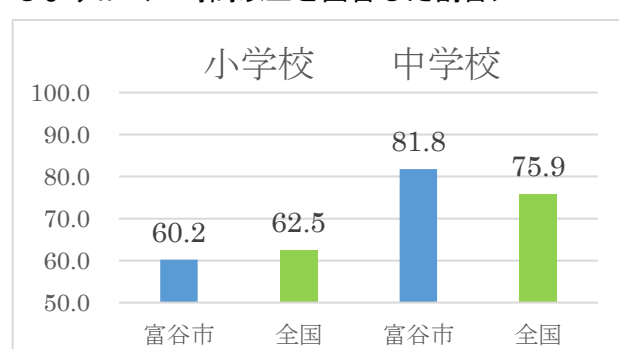
また、Q 2 2は今回の調査で新たに設けられた項目で、家庭の蔵書量を問うものです。富谷市は小・中学校とも全国を大きく上回りました。学校のみならず、家庭の環境も読書活動を支えていると思われます。

## 家庭学習

Q 1 7 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



Q 1 8 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか<1時間以上と回答した割合>



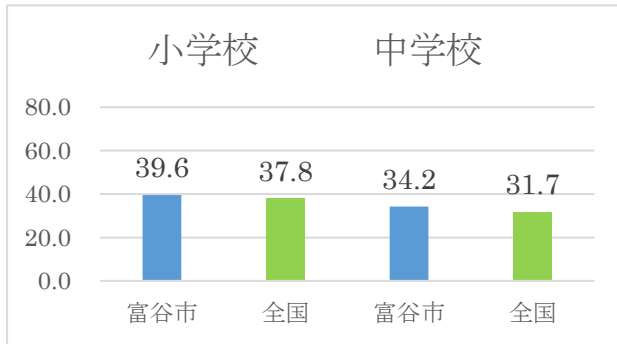
自分で計画を立てて勉強すると回答した割合は、小・中学校とも、全国を上回りました。中学校は小学校に比べると低いものの、全国を大きく上回っています。平日の勉強時間は小学校で全国を下回りましたが、中学校では全国を上回っています。

家庭学習では、計画を立てて学習する具体例を示し参考にさせたり、計画的な学習の効果を教えたりするなど、継続的な指導が大切です。

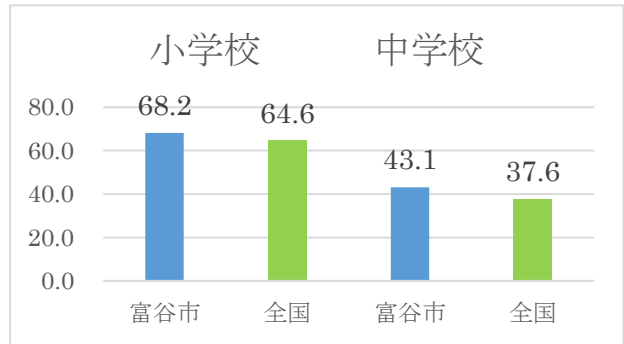
## 新型コロナウイルス感染症に関連する項目について

※今回の調査では、新型コロナウイルス感染症に関連する項目が設定されています。

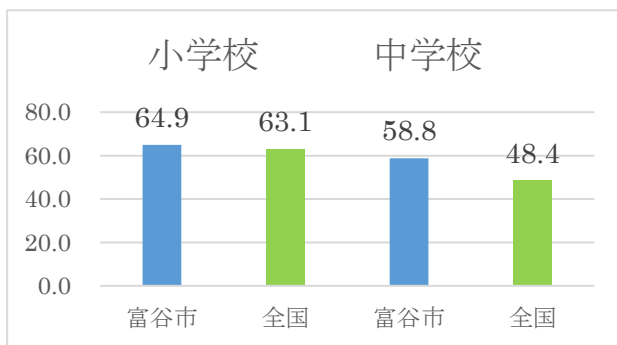
Q 6 4 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか／感じない・どちらかといえば感じないと回答した割合＞



Q 6 5 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか



Q 6 6 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校の休校期間中の「勉強に対する不安」、「計画的な学習」、「規則正しい生活」についての肯定的な回答は、小学校の方が中学校より多い傾向でした。

「勉強に対する不安」の感じない・どちらかといえば感じないと回答した割合は4割を下回っており、過半数の子どもたちが不安に感じていたことが分かります。

「計画的な学習」、「規則正しい生活」については、富谷市の小・中学校は全国を上回りました。

富谷市が良好だった理由として、子どもたちの

資質、家庭の教育力など様々な要因も考えられますが、タブレットを活用したリモート授業の実施や日々の家庭連絡の重視など、富谷市の教職員の取組も効果があったと思われます。